



明けましておめでとうございます

令和8年（2026年）がスタートしました。
14日間の冬休みがありましたが、事件や事故もなく、無事に3学期を迎えることができました。
3学期は「ゼロ学期」でもあります。来年度のスタートに向けて、2学期の課題を改善していきたい
ものです。一中職員も、夢実現応援団として、子どもたちの可能性を少しでも伸ばせるよう頑張っ
ていきたいと考えておりますので、本校の教育活動へのご支援とご協力よろしくお願いします。

3学期始業式を行いました

1月8日（木）、「3学期始業式」を体育館で行いました。始業式では、各学年の代表者が
3学期の抱負を発表しましたので紹介します。

《1年生：木水真生（まお）さん》

2学期は、クラスが十分にまとまることができなかったように思う。自分でもできるこ
とがあったのではと後悔をしている。級長として、見本となることが十分できなかったと
思うので3学期はがんばりたい。

部活動では、卓球の県中体連大会で5連覇を達成し、九州大会や全国大会に勝ち進みたい。

《2年生：林智也（ともや）さん》

これまで、勉強に十分取り組めていなかったで、テストで思うような結果を出すこ
とができなかった。分からない問題から逃げいていたので、これからはしっかりと取り組ん
で、期末テストでは良い結果を出したい。

2学期は体育大会や合唱コンクールなどの目標に向かってクラスが団結できたと思う。
一人一人の良さを再発見し、「終わり良ければ全てよし」というので、一日一日を全力でが
んばり、次の学年の準備をしていきたい。

《3年生：宮本晃希（こうき）さん》

共通テストで思うような結果が出ず、危機感を持った。クラスの中には休み時間も勉強
する人もいて、冬休みは本気で取り組んだ。朝10時から夜10時まで塾で勉強
できたのは、志望校でラグビーを続ける目標があったからだ。

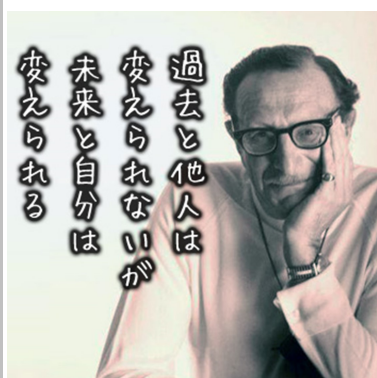
早く受験が終わる生徒も出てくると思うが、受験をひかえている人のために、みんなで
協力して、受験に集中できるよう取り組みたい。残り40日間を切ったので、一中生でよ
かったと思える卒業式にしていきたい。

《始業式での校長の話》

「過去と他人は変えられないが、未来と自分は変えられる」の言葉のように、自分
の頑張りや未来はどうにでもなる。なりたい
自分に向かって努力することが大切だ。

また、「できるか できないかではなく
やるか やらないかだ」という言葉もある
が、3年生の場合「やるか やらないか」
ではなく「やるか もっとやるか」だと話
しました。最後に、改善したい3つの課題
についての話をしました。1月末に改善し
たかのアンケートをとる予定ですので、し
っかり取り組んで欲しいと思います。

下の写真は、校長の話で使用したスライドの一部です。「ゼロ学期」の充実に向けて、全校生徒でがんばりましょう！！



出来るか
出来ないか
やるか
やらないか

「やるか
やらないか」ではなく

「やるか
もっとやるか」である

やっぞ！一中！

2学期までの課題を改善しよう

- ①授業時間の私語が多い
- ②家庭学習時間が足りない
- ③生活習慣の乱れ

・メディアに支配されている
・就寝時間が遅い